

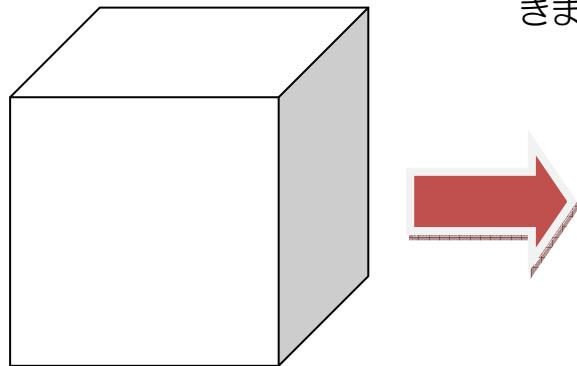
立方体を書く練習

立体図形の学習では、立方体や直方体を書く機会が増えます。

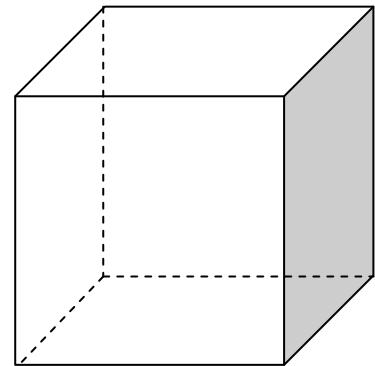
問題を解く時には、図はある程度正確でなくてはなりません。しかし、いつもじょうぎを使って書いていると、時間がかかる仕方ありませんし、テスト本番の時だけフリー手で書こうと思っても、慣れていないとうまく書けないものです。

ですから、フリー手で、ある程度正確に、すばやく立方体や直方体を書けるようにしておくことが大切です。ここではその練習をしましょう。

立方体は下図のように、さいころの形をしています。



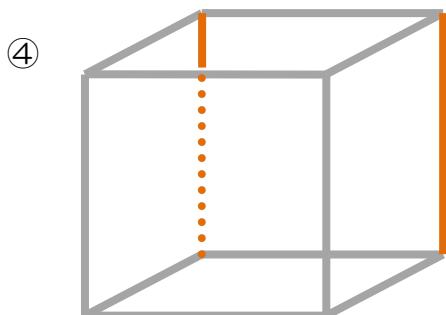
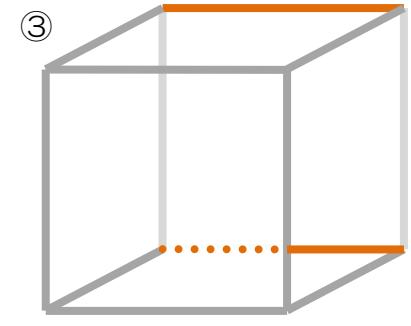
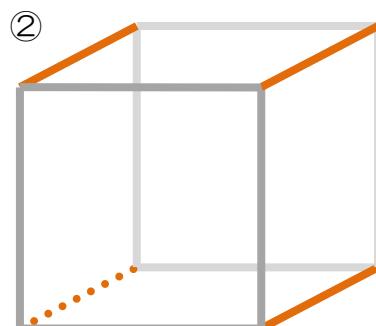
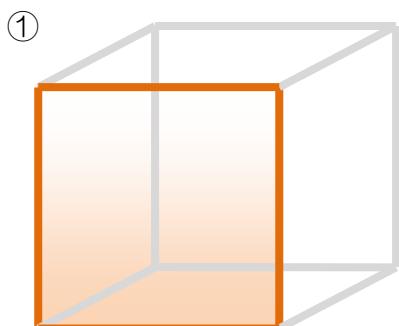
立体図形を、平面上に表現する時は、見える部分を実線で、見えない部分を点線で書きます。



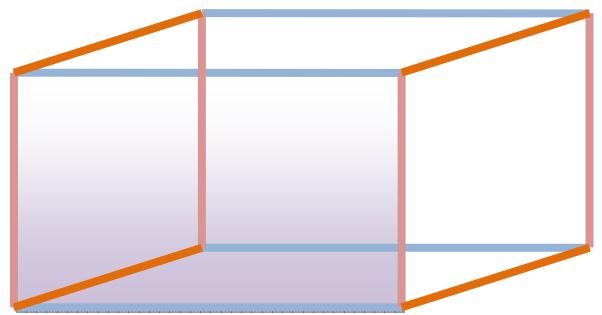
では、書く練習をしてみましょう。

立方体は、3組の平行な辺から成り立っています。

正面の正方形を書いてから、等しい長さの平行線を書いていくとうまく書けます。



図を何度もなぞって練習しましょう。



初めに長方形を書くと、直方体ができます。